

Attracting Tomorrow



2021年3月期通期決算説明会

TDK株式会社
広報グループ
2021年4月28日

- 2021年3月期 連結業績概要
専務執行役員 山西 哲司
- 2022年3月期 連結業績見通し
代表取締役社長 石黒 成直

2021年3月期 連結業績概要

専務執行役員
山西 哲司

2021年3月期 通期決算のポイント

米中対立やコロナ禍により世界経済が減速も、第2四半期以降の社会経済活動、生産活動の再開によるエレクトロニクス需要の回復基調が継続。DX、EX関連需要が期初想定以上に拡大し、売上高・営業利益とも過去最高を更新*。

- 売上高は前期比8.5%増、営業利益は前期比13.9%増

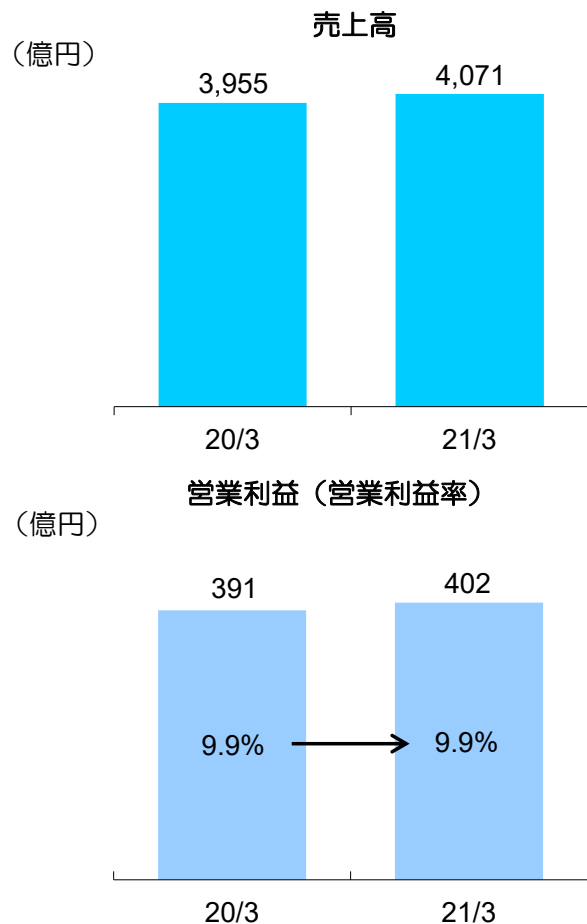
- 第2四半期より急回復した自動車市場向けの受注が引き続き好調。受動部品を中心に販売が拡大。
- ICT市場向けは、DX関連需要が好調に推移。PC、タブレット、5Gスマートフォン向けに二次電池、受動部品、センサの販売が拡大。
- コロナ禍における短期的収益改善施策及び需要動向変化を見据えた拠点再編等の資産効率向上施策を第4四半期に実施。

*営業利益は2017年3月期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

2021年3月期 連結業績概要

(億円)		2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	前期比	
				増減	増減率 (%)
売上高		13,630	14,790	1,160	8.5
営業利益		979	1,115	136	13.9
営業利益率		7.2%	7.5%	+0.3 pt	-
税引前利益		959	1,219	260	27.1
当期純利益		578	793	215	37.2
1株当たり利益 (円)		457.47	628.08	-	-
為替	対ドルレート (円)	108.82	106.05	2.5%の円高	
	対ユーロレート (円)	120.92	123.67	2.3%の円安	
為替変動による 影響金額		売上高：約217億円の減収 営業利益：約81億円の減益			

2021年3月期 各事業の状況（受動部品事業）

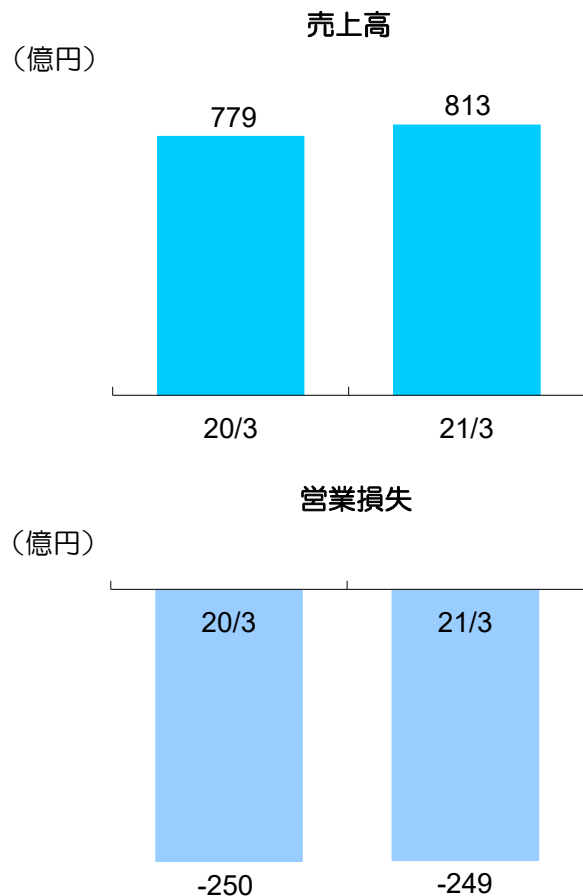


売上高 4,071億円（前期比2.9%増）
営業利益 402億円（前期比2.8%増）

- セラミックコンデンサ
 - 前期比で増収減益。
 - 自動車市場向け販売が増加。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - 前期比で増収、収益が改善。
 - 産業機器市場向け販売が増加。
- インダクティブデバイス
 - 前期比で増収増益。
 - ICT市場向け販売が増加、産業機器市場向け販売が減少。
- 高周波部品
 - 前期比で増収増益。
 - ICT市場向けの販売が増加。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - 前期比で増収増益。
 - 産業機器市場向け販売が増加。

2021年3月期 各事業の状況（センサ応用製品事業）

Attracting Tomorrow

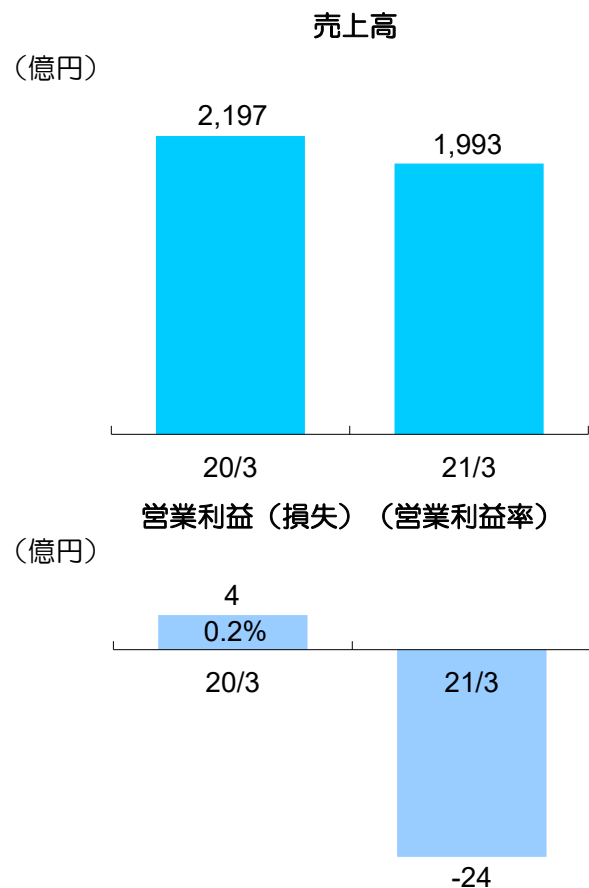


売上高 813億円（前期比4.4%増）
営業損失 △249億円（前期比一%減）

● センサ

- 上期は自動車市場向け販売の落ち込みが大きく前期比で減収も、下期は需要回復及び顧客基盤、アプリケーション基盤の拡大で大幅増収となり、4Qに最高売上。
- 収益は4Qに一時費用を計上も、開発費効率化やコスト改善施策の効果により改善。
- TMRセンサは、ICT市場向け販売が大幅に拡大し増益。
- MEMSセンサは、モーションセンサの顧客基盤の拡大及びMEMSマイクロフォンの新規ビジネス立上げにより販売が拡大。

2021年3月期 各事業の状況（磁気応用製品事業）

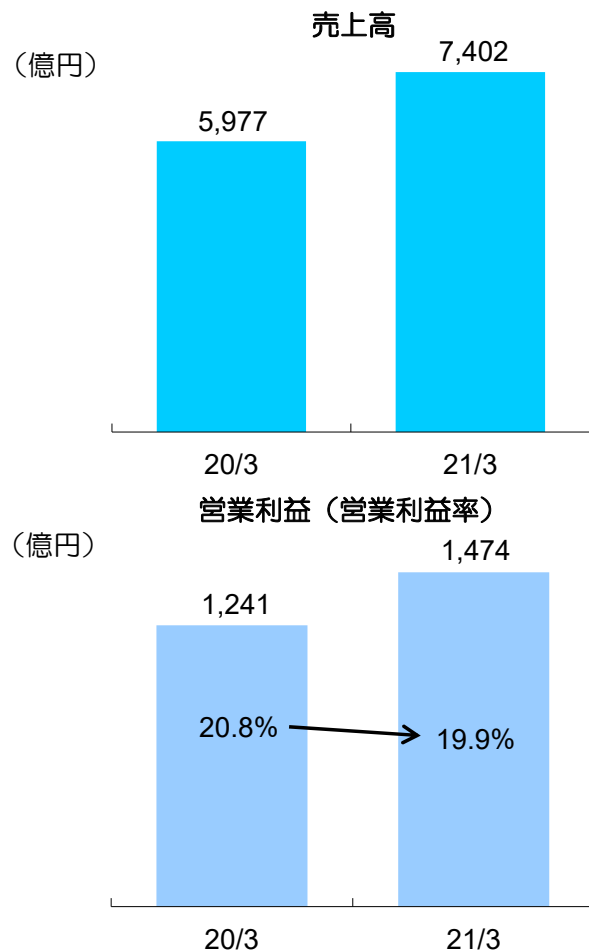


売上高 1,993億円（前期比9.3%減）
営業損失 △24億円（前期比一%増）

- HDDヘッド・HDDサスペンション
 - HDDヘッドは主要顧客の工場閉鎖（ロックダウン）により前期比で大幅な減収減益、磁気応用製品セグメント全体で収益が悪化。
 - HDDサスペンションはμDSAの販売拡大で前期比で増収増益。
- マグネット
 - 自動車市場向けの販売が減少し前期比で減収。収益は、一時費用の減少により損失額縮小。

2021年3月期 各事業の状況（エナジー応用製品事業）

Attracting Tomorrow



売上高 7,402億円（前期比23.8%増）
営業利益 1,474億円（前期比18.8%増）

● エナジーデバイス（二次電池）

- ⌢ 前期比で増収増益。パワーセル新製品の立上げに向け先行投資を実施したため、増益率が若干低下。
- ⌢ モバイル用途（スマートフォン、タブレット、ノートPC）向けの販売が好調に推移、特にタブレット、ノートPC向けは大幅増。
- ⌢ ゲーム機向けやミニセル製品の販売が拡大。
- ⌢ 家庭用蓄電システム、電動二輪車向け等のパワーセル製品の販売が拡大。

● 電源

- ⌢ 産業機器用電源は前期比で増収増益。
- ⌢ EV電源は減収。

営業利益増減分析

2020年3月期
979億円

営業利益 +136億円

2021年3月期
1,115億円

(単位：億円)

売上による
利益変動

+493

売価値引き

▲287

合理化
コストダウン

+264

構造改革効果

+19

販売費及び
一般管理費増

▲290

M&A関連
一時費用

+11

減損損失

+110

構造改革等
一時発生費用

▲103

為替変動

▲81

(US\$=Yen 106.05)

979

1,115

2021年3月期 セグメント別四半期実績

Attracting Tomorrow



(億円)		2020年3月期 第4四半期 (A)	2021年3月期 第3四半期 (B)	2021年3月期 第4四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	377	419	443	66	17.5	24	5.7
	インダクティブデバイス	330	390	390	60	18.2	0	0.0
	その他受動部品	263	285	306	43	16.3	21	7.4
	受動部品合計	970	1,095	1,139	169	17.4	44	4.0
	センサ応用製品合計	187	230	239	52	27.8	9	3.9
	磁気応用製品合計	518	559	546	28	5.4	△ 13	△ 2.3
	エネルギー応用製品合計	1,183	1,954	1,873	690	58.3	△ 81	△ 4.1
	その他	145	119	125	△ 20	△ 13.8	6	5.0
	合計	3,004	3,957	3,922	918	30.6	△ 35	△ 0.9
営業利益	受動部品	67	134	95	28	41.8	△ 39	△ 29.1
	センサ応用製品	△ 70	△ 41	△ 85	△ 15	-	△ 44	-
	磁気応用製品	△ 115	42	△ 41	74	-	△ 83	-
	エネルギー応用製品	147	428	250	103	70.1	△ 178	△ 41.6
	その他	△ 58	△ 30	△ 83	△ 25	-	△ 53	-
	小計	△ 30	533	136	166	-	△ 397	△ 74.5
	全社および消去	△ 84	△ 82	△ 95	△ 11	-	△ 13	-
	合計	△ 114	451	41	155	-	△ 410	△ 90.9
営業利益率		-	11.4%	1.0%	- pt	-	10.4 pt	-
為替	対ドルレート (円)	109.05	104.50	105.87				
	対ユーロレート (円)	120.32	124.46	127.75				

2022年3月期 連結業績見通し

代表取締役社長
石黒 成直

2022年3月期 通期見通しのポイント

●市場予測

- 世界経済はマイナス成長からプラス成長へ（W/W：-3.3%/FY2021 → 6.0%/FY2022）
- 米中対立、コロナ禍のリスクは残るが、ワクチン接種や経済対策により生産活動は継続回復
- 自動車、スマートフォンは前期比プラス、PC・タブレットも前期同水準の生産を予測
- モビリティの電動化、再生エネルギーへの転換促進により、ハイパワー二次電池の需要拡大

●DX・EXの潮流が加速、その潮流をしっかりと捉えるためアクセルを踏む年中核事業の更なる成長に向けた積極投資と組織・体制の整備を実行

- 成長投資：二次電池（パワーセル事業本格立上げ、インド市場拡大）
受動部品（xEV、ADAS、5G関連製品の生産能力拡大）
ヘッド・サスペンション（新技術市場投入、サスペンション応用製品拡大）
- センサ事業：これまでの拡販施策の成果を積み上げ、収益を大幅に改善
- 組織・体制：アンテナ機能強化（コーポレートマーケティング機能新設）
Time to Market短縮（製販一体ビジネスカンパニー）
モノづくり力向上、サステナビリティマネジメント

●株主還元

- 配当予想を10円増配し、年間190円に

2022年3月期の市場予測

Production Trend (Unit: Mil. unit)	FY2021	FY2022 (Y o Y)
Automobile*	79	83 (+5%)
<i>therein</i> xEV	5.7	6.9 (+21%)
Smartphone	1,349	1,369 (+1%)
<i>therein</i> 5G Smartphone	300	470 (+57%)
HDD	250	243 (-3%)
<i>therein</i> Nearline	61	64 (+5%)
Notebook PC	214	212 (±0%)
Tablet	165	157 (-5%)

*Automobileは商用車を含む台数

2022年3月期 通期連結売上高増減イメージ

(億円)

セグメント 区分	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期予想 (前期比)
受動部品	4,071	+4～+7%
センサ応用製品	813	+22～+25%
磁気応用製品	1,993	+9～+12%
エナジー応用製品	7,402	+8～+11%
その他	511	—
合計	14,790	16,000

為替前提

為替レート \$/Yen

106.05

105.00

為替レート EURO/Yen

123.67

124.00

2022年3月期 連結業績及び配当金見通し

(億円)		2021年3月期 通期実績	2022年3月期 業績予想 (2021年4月発表)	業績予想対前期比	
				増減	増減率(%)
売上高		14,790	16,000	1210	8.2
営業利益		1,115	1,500	385	34.5
営業利益率		7.5%	9.4%	+1.9 pt	-
税引前利益		1,219	1,500	281	23.1
当期純利益		793	1,000	207	26.1
1株当たり利益(円)		628.08	791.62	-	-
配当金		中間：90円 期末：90円 年間：180円	中間：95円 期末：95円 年間：190円	-	-
為替	対ドルレート	106.05	105.00	-	
	対ユーロレート	123.67	124.00	-	
固定資産の取得 (設備投資)		2,124	3,000	876	41.2
減価償却費		1,403	1,600	197	14.0
研究開発費		1,270	1,400	130	10.2

補足資料

財政状態

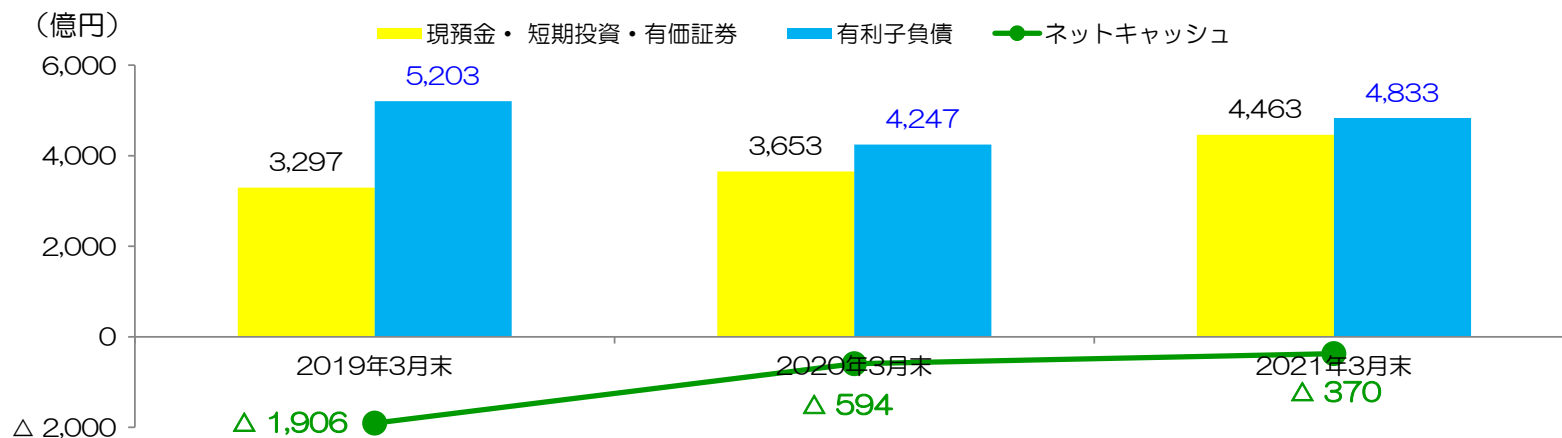
Attracting Tomorrow



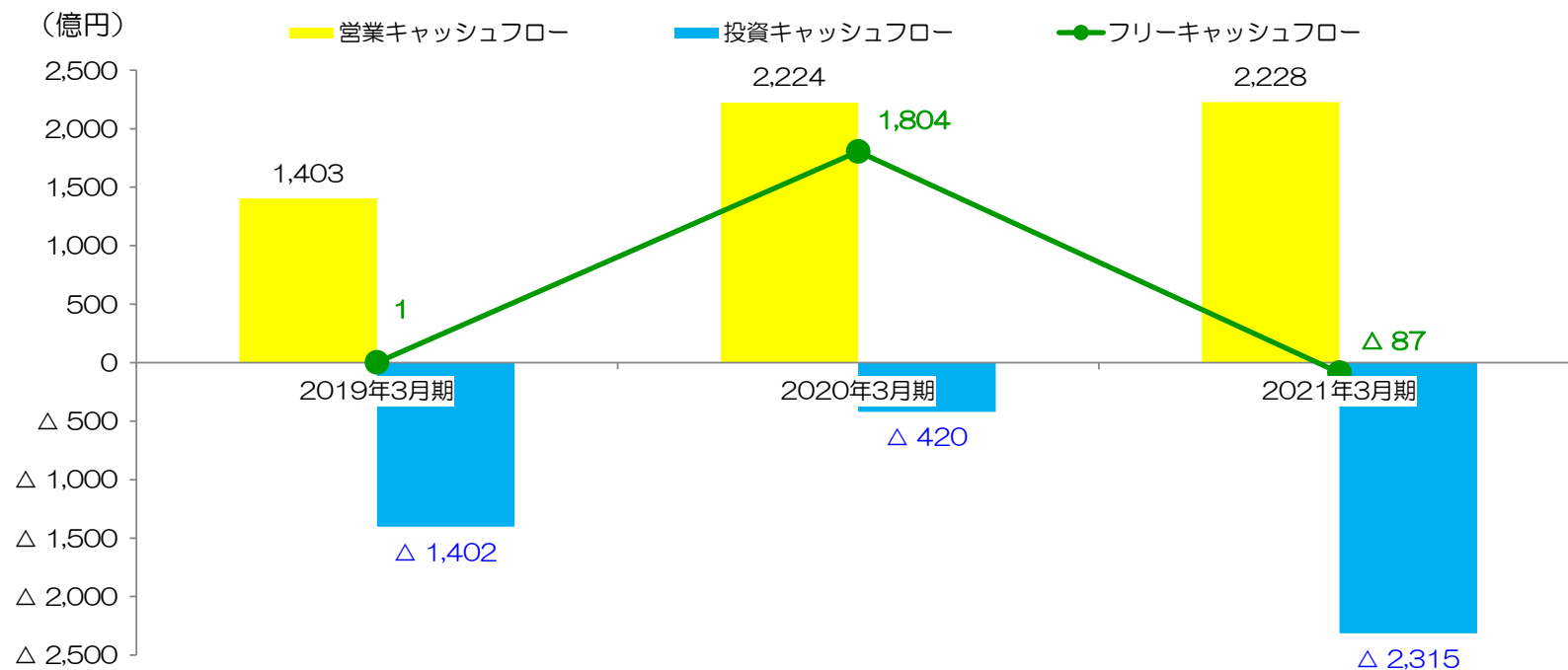
(億円)	2019年 3月末	2020年 3月末	2021年 3月末	対2020年比 増減
総資産	19,925	19,434	24,014	4,580
負債合計	11,087	10,948	13,951	3,003
株主資本	8,773	8,440	10,035	1,595
(うち包括利益)	△1,244	△1,901	△827	1,074
株主資本比率	44.0%	43.4%	41.8%	-1.6 pt
現預金・短期投資・有価証券	3,297	3,653	4,463	810
有利子負債(*1)	5,203	4,247	4,833	586
ネット・キャッシュ(*2)	△1,906	△594	△370	224

*1: 短期借入債務 + 一年以内返済予定の長期借入債務 + 長期借入債務 (オペレーティング・リース債務除く)

*2: 現預金・短期投資・有価証券 - 有利子負債



キャッシュフロー



(億円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	対2020年比 増減
固定資産の取得	1,736	1,734	2,124	390
減価償却費	1,066	1,250	1,403	153

売上高及び営業利益の四半期推移

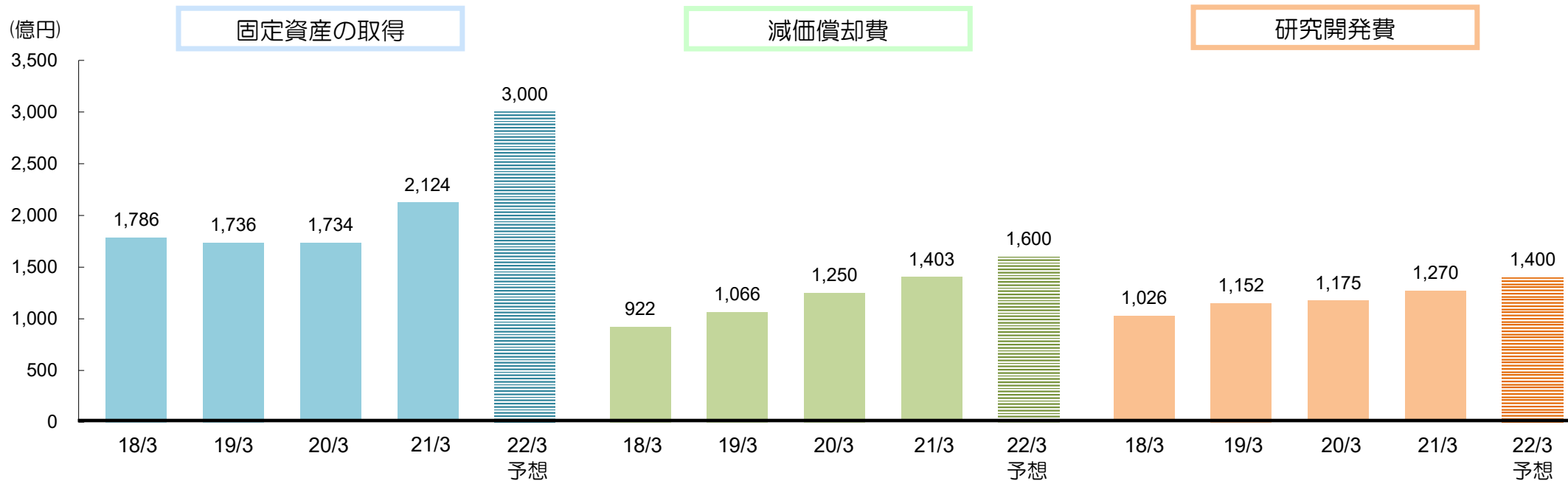
Attracting Tomorrow



(億円)		2020年3月期					2021年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	コンデンサ	393	396	373	377	1,539	333	386	419	443	1,582
	インダクティブデバイス	341	357	348	330	1,376	274	346	390	390	1,400
	その他受動部品	248	266	263	263	1,040	236	262	285	306	1,090
	受動部品合計	983	1,019	983	970	3,955	844	994	1,095	1,139	4,071
	センサ応用製品	181	208	203	187	779	147	198	230	239	813
	磁気応用製品	555	545	579	518	2,197	383	504	559	546	1,993
	エナジー応用製品合計	1,445	1,737	1,612	1,183	5,977	1,569	2,007	1,954	1,873	7,402
	その他	204	194	179	145	723	152	114	119	125	511
	合計	3,368	3,702	3,556	3,004	13,630	3,094	3,817	3,957	3,922	14,790
営業利益	受動部品	103	114	106	67	391	77	97	134	95	402
	センサ応用製品	△ 70	△ 55	△ 55	△ 70	△ 250	△ 73	△ 51	△ 41	△ 85	△ 249
	磁気応用製品	33	35	52	△ 115	4	△ 38	14	42	△ 41	△ 24
	エナジー応用製品	265	425	405	147	1,241	313	483	428	250	1,474
	その他	3	△ 6	△ 25	△ 58	△ 86	△ 19	△ 28	△ 30	△ 83	△ 161
	小計	334	512	484	△ 30	1,300	260	515	533	136	1,443
	全社および消去	△ 84	△ 73	△ 80	△ 84	△ 322	△ 76	△ 75	△ 82	△ 95	△ 327
	合計	250	439	404	△ 114	979	184	440	451	41	1,115
為替	対ドルレート (円)	110.10	107.39	108.74	109.05	108.82	107.61	106.23	104.50	105.87	106.05
	対ユーロレート (円)	123.57	119.48	120.34	120.32	120.92	118.45	124.06	124.46	127.75	123.67

2022年3月期各種費用見通し及び為替感応度

各種費用

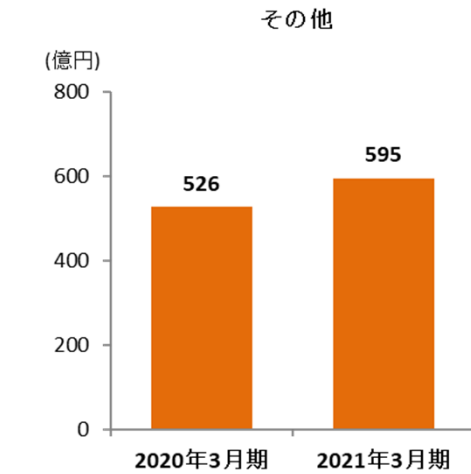
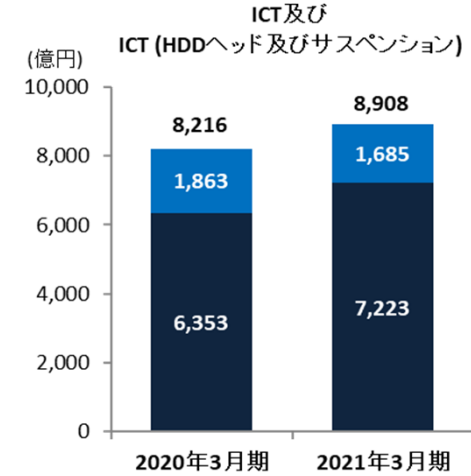
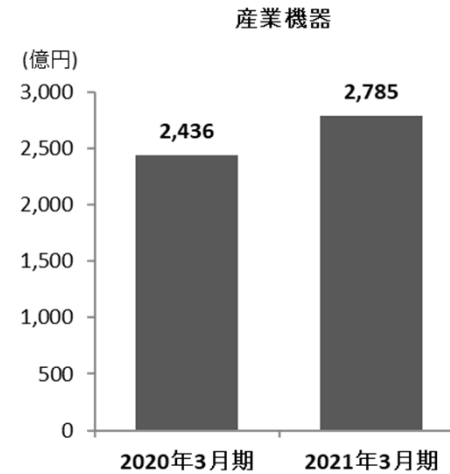
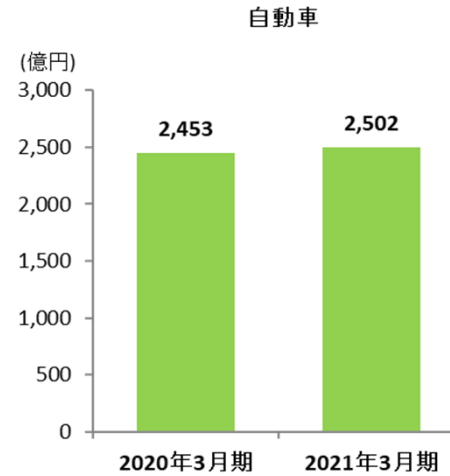
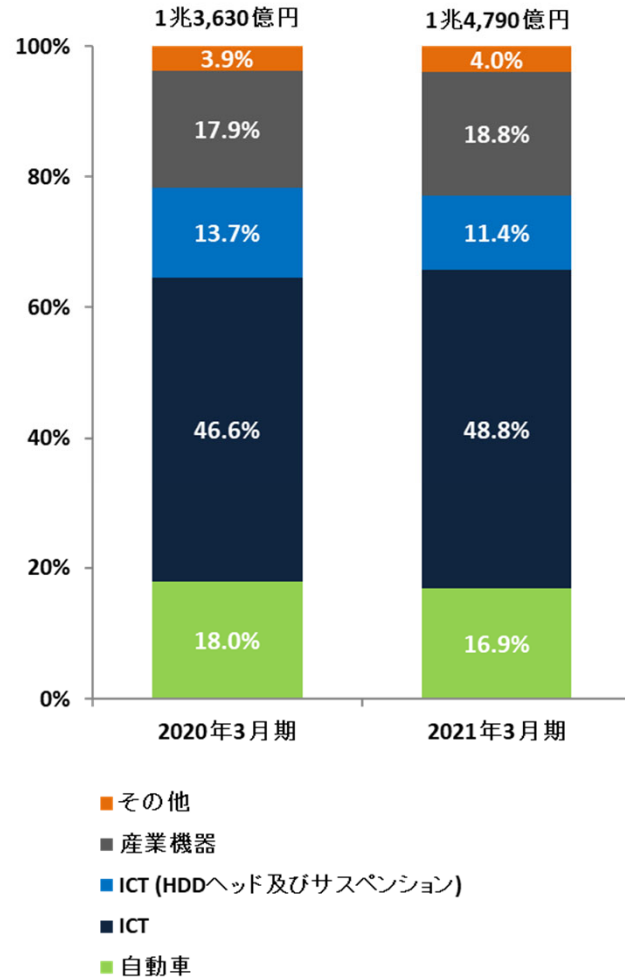


為替感応度（1円の変動による影響額）

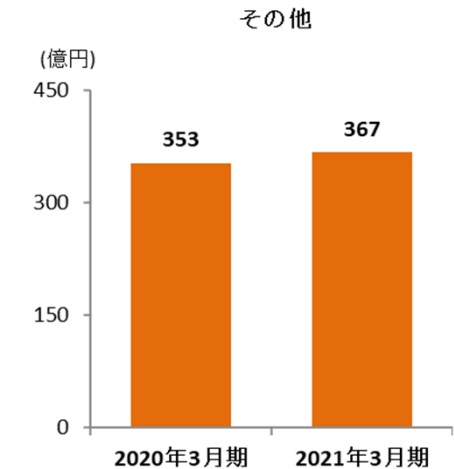
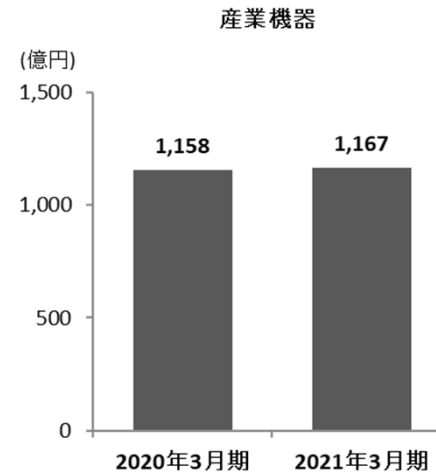
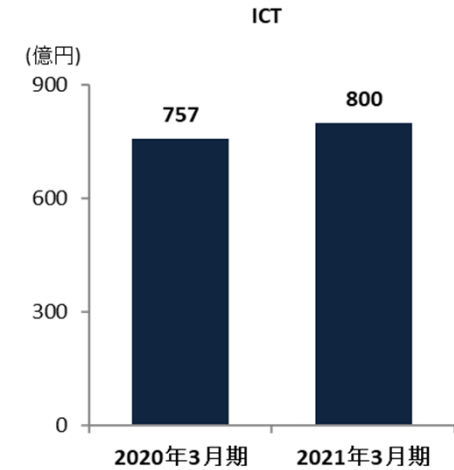
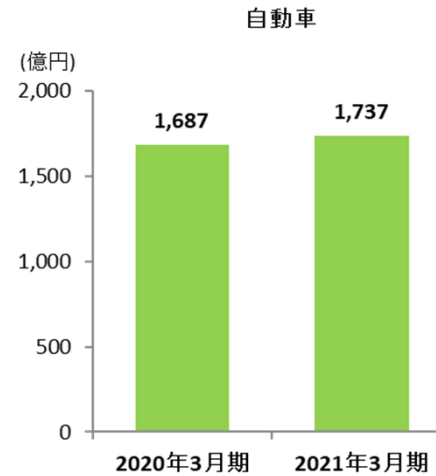
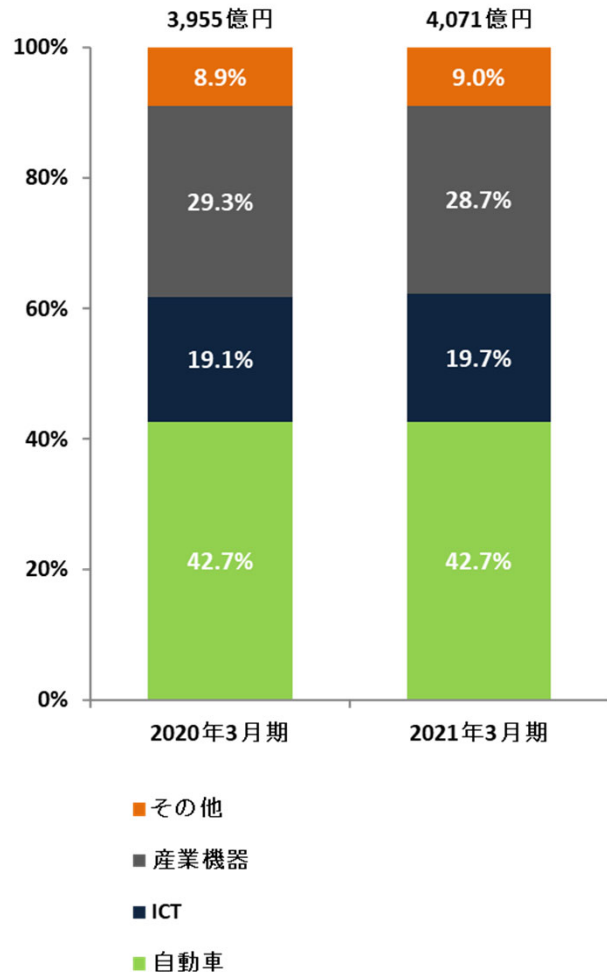
●ドル：売上70億円、営業利益12億円

●ユーロ：売上15億円、営業利益2億円

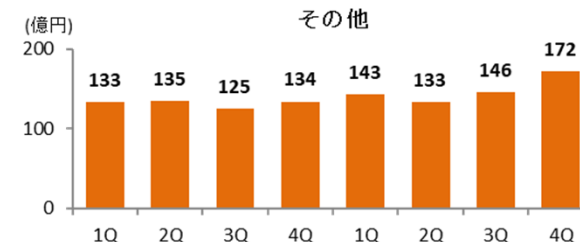
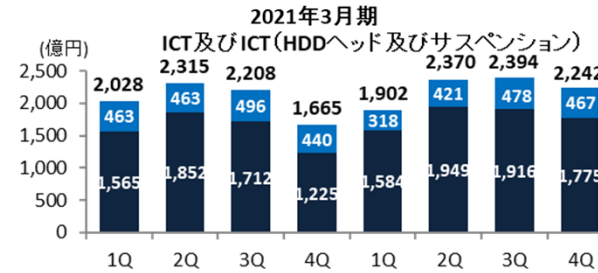
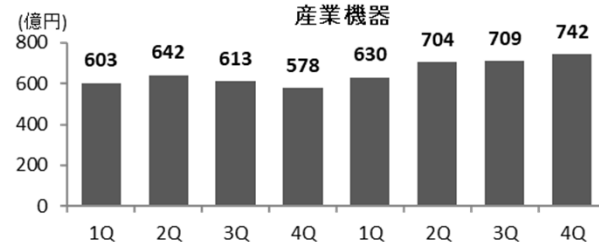
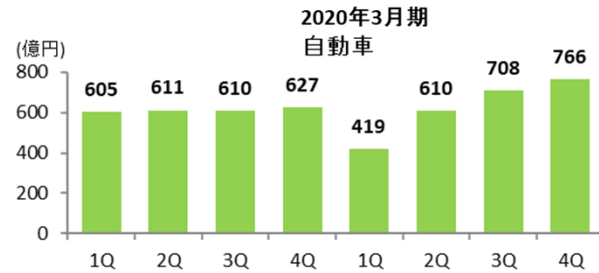
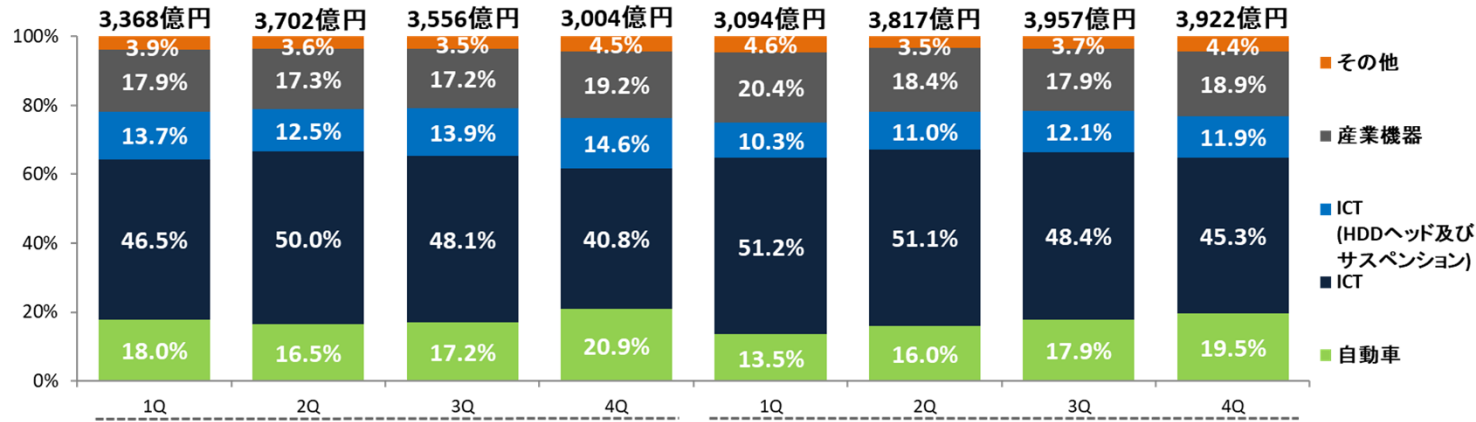
全社 市場別通期売上高推移 (2020年3月期～2021年3月期)



受動部品 市場別通期売上高推移 (2020年3月期～2021年3月期)

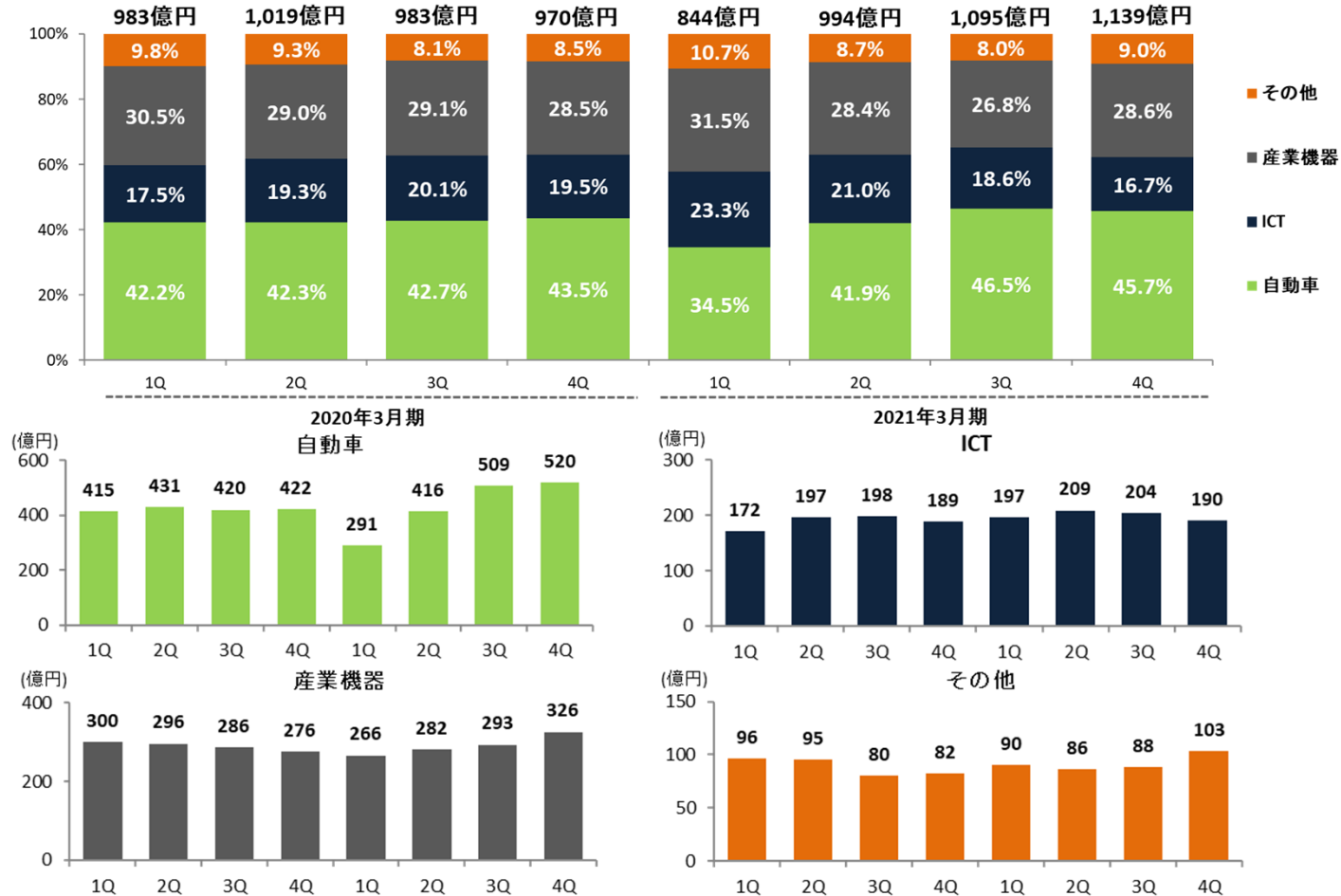


全社 市場別四半期売上高推移 (2020年3月期～2021年3月期)

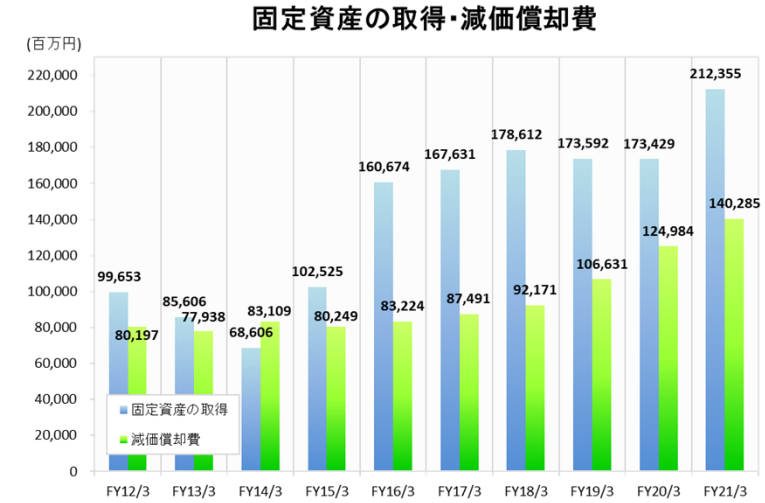
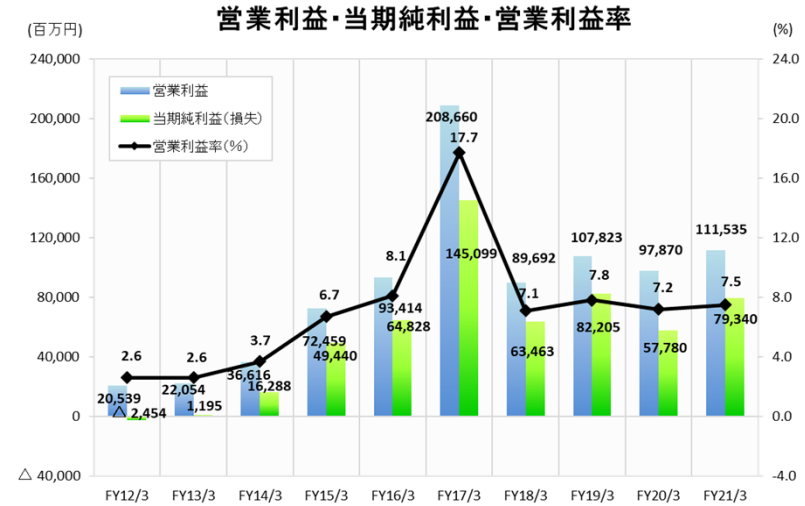
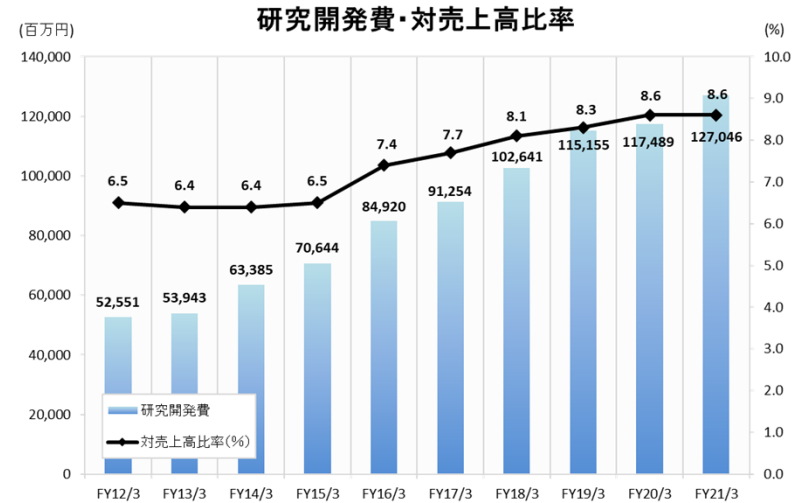
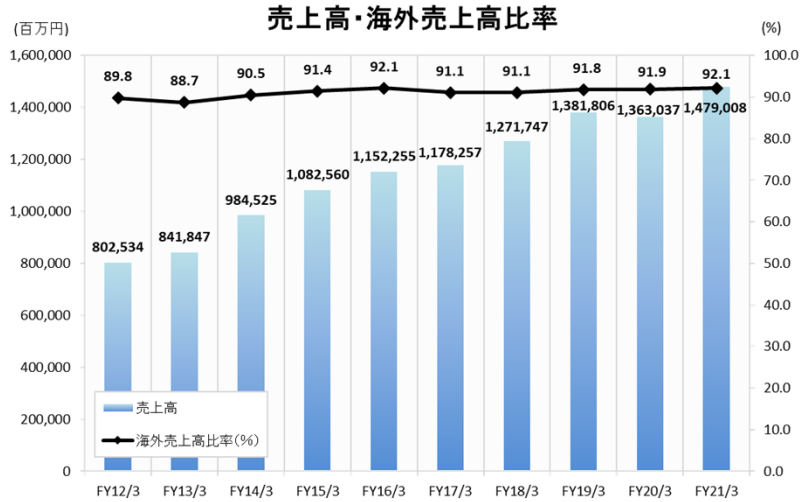


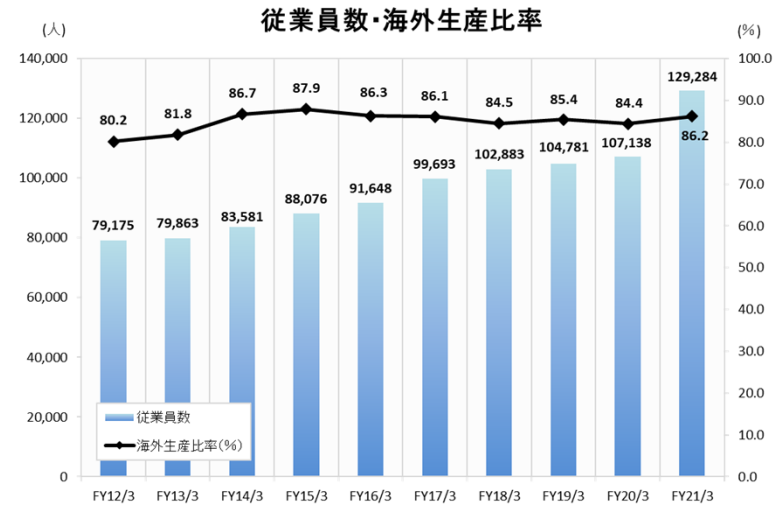
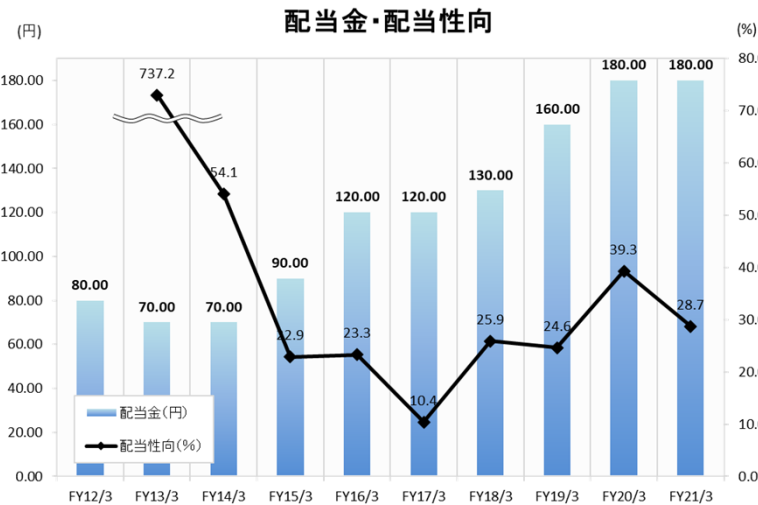
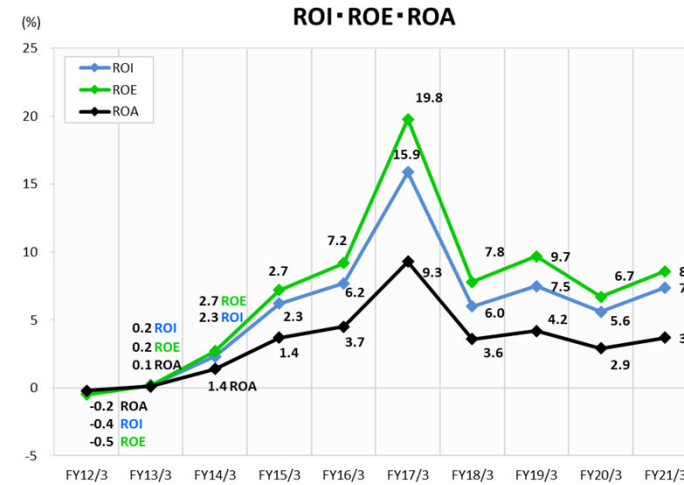
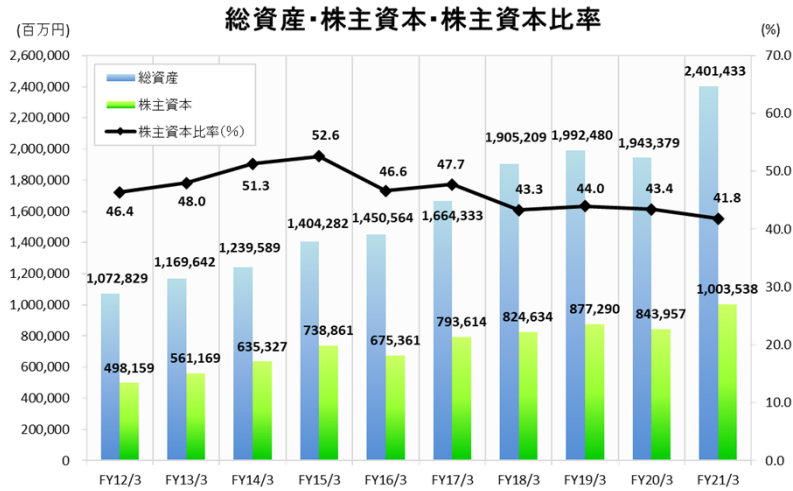
(注) 当第1四半期における市場の再定義により、従来「その他」に属していた一部製品を「自動車」「ICT」「産業機器」に区分変更するとともに、前期の数値についても変更後の区分に組み替えております。

受動部品 市場別四半期売上高推移 (2020年3月期～2021年3月期)



(注) 当第1四半期における市場の再定義により、従来「その他」に属していた一部製品を「自動車」「ICT」「産業機器」に区分変更するとともに、前期の数値についても変更後の区分に組み替えています。





将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載いたします。
https://www.tdk.com/ja/ir/ir_events/conference/2021/4q_1.html